

平成30年1月元旦

新年のご挨拶

一般社団法人全国高圧ガス容器検査協会
専務理事 佐藤 四郎

新年明けましておめでとうございます。
平成30年の新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。

1年が過ぎるのがとても早く感じます。新年会、講習会、総会、理事会、暑気払い、委員会、連絡会議、忘年会など行事を開催しているうちに1年が終わる次第です。

昨年を振り返りますと森友学園と加計学園問題で揺れ、忖度の言葉が話題となりました。巷では忖度はいろいろと有ると思いますが、この問題は首相官邸の意向を役人がおもんはかったと指摘され厳しい追及がされる訳です。秋には衆院選がありました。小池百合子氏が希望の党を立ち上げましたが、排除します発言で失速し自民党の圧勝となりました。当協会が応援する和田義明先生は見事に2回目の当選を果たしました。



また、将棋界では若手の棋士が誕生しました。藤井聡太四段は中学生でプロとなり、公式戦29連勝の記録を作りました。すごい人が現れました。これから多くのタイトルを取るものとわくわくしています。残念な話題では日馬富士の暴力問題です。最後は引退となりましたが、相撲協会は暴力体質の一掃という課題だけでなく、協会組織の健全運営という内部統治が問われます。

コンプライアンスの面では、素材メーカーの製品検査データ改ざん問題がありました。神戸製鋼という名門企業が数多くのデータを改ざんして製品を出荷し、大変な問題になっています。東レにおいてもデータ改ざんが発覚し大手製造業で不正が相次いでおり信用を失墜させる事態となりました。また、日産自動車とスバルでは新車の完成検査を無資格者が行うという不正があり、企業のガバナンスの在り方が批判されているところです。

さて全検協では、2月13日に新年会を開催します。場所は伊豆下田温泉「黒船ホテル」です。この時期、南伊豆は菜の花と桜が満開となり、また風光明媚な観光地もあります。是非大勢の皆様の参加をお待ちしています。

又、LPガス容器検査講習会は今年も大阪・福岡・東京の3会場で開催します。保安教育の一環として多数の出席をお待ちしています。

最後に皆様の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。